

第3章 目指す将来像とその実現に向けた基本的な方針

第3節 評価指標と数値目標

本計画に示す基本方針や施策の達成状況を評価するため、評価指標と数値目標を設定します。

表 3-1 評価指標と数値目標

評価指標		関連する 施策	基準値		目標値 (令和 12 年度)
			値	出典	
指標1	地域公共交通の利用者数(路線バス等)	1、2、3、4、5、7	43,699 人/日 (令和 5 年度)	統計年報	検討中
指標2	路線バス・コミュニティバスの一便あたりの利用者数	1、2	28.9 人/便 (令和 5 年度)	統計年報、各バス事業者 HP	
指標3	コミュニティバスの収支率	1、2	錦ルート:43.6% 西砂ルート:29.4% (令和 6 年度)	利用実績データ	
指標4	コミュニティバスの一人当たりコスト	1、2	275 円 (令和 6 年度)	利用実績データ	
指標5	高齢者の外出率(週に3日以上外出している割合)	3、4	78.9% (令和 6 年度)	地域公共交通に関する市民アンケート	
指標6	公共交通機関の利便性が高いと思う割合	2、5	79.9% (平成 31～令和 5 年度の平均値)	市政に関するアンケート	
指標7	立川駅の乗車人員	2、4、5	150,628 (令和5年度)	東日本旅客鉄道(株)HP	
指標8	公共交通に関する市民協働による取組み件数	3、6	—	—	

施策 1 : 「幹」のバスネットワークの維持

施策 2 : 公共交通の利用促進・利便性の向上

施策 3 : 「枝葉」の交通ネットワークの展開

施策 4 : 公共交通を利用したおでかけ促進

施策 5 : 主要鉄道駅などでの交通結節機能向上

施策 6 : 連携・協働の仕組みづくり

施策 7 : 人と地球にやさしい安全・安心に公共交通を利用できる環境づくり